

製品名: シスタチン L1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09698**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CSTL1
別名	CSTL1; Cystatin-like 1; RCET11
遺伝子 ID	128817.0
SwissProt ID	Q9H114
免疫原	抗血清はヒト CSTL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

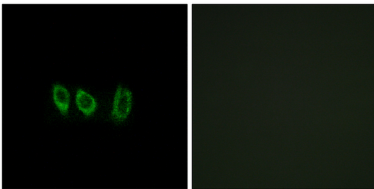
シスタチンスーパーファミリーは、複数のシスタチン様配列を含むタンパク質を包含する。メンバーの中には活性システインプロテアーゼ阻害活性を持つものもあれば、阻害活性を失ったもの、あるいはそもそも阻害活性を獲得していないものもある。このスー

パーファミリーには、タイプ1シスタチン（ステフィン）、タイプ2シスタチン、キニンノーゲンの3つの阻害ファミリーが存在する。タイプ2シスタチンタンパク質は、様々なヒトの体液や分泌物に存在するシステインプロテアーゼ阻害因子の一種である。20番染色体上のシスタチン遺伝子座には、タイプ2シスタチン遺伝子と擬似遺伝子の大部分が含まれる。この遺伝子はシスタチン遺伝子座のテロメア末端に位置し、タイプ2シスタチン様タンパク質をコードする。このタンパク質の具体的な機能は未解明である。
[RefSeq 提供、2008年7月]類似性: シスタチンファミリーに属する。、

研究分野

-

画像データ



CSTL1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。